

社会資本整備総合交付金事業

一般国道168号 かしばおうじ 香芝王寺道路

奈良県（道路建設課）

1. 再評価対象事業一覧表

2. 事業評価項目一覧表

3. 説明資料

平成23年度 再評価対象事業一覧表（第2回委員会）

[illegible]

事業評価項目一覧表

事業名	社会資本整備総合交付金	事業主体	奈良県
河川・道路名等	国道１６８号	事業箇所	香芝王寺道路
評価項目及び評価内容			
事業の目的及び必要性 ☐目的 ・４車線化による渋滞緩和、交通安全確保、地域の活性化 ☐必要性 ・幅員狭小、交通容量不足、歩道未整備（資料p. １２～１４）			
事業策定の経緯 ☐当時の状況 ・幅員狭小の２車線道路で、歩道が未整備のため、渋滞の発生、歩行者の安全性が確保できていない。 ☐着手までの経緯 ・昭和４０年奈良西幹線として都市計画決定（資料p. ４・１２・１３）			
事業の効果（費用対効果や施策的な効果など） ☐計画時の効果 ・$B/C = 1.8$ ☐現時点の効果 ・$B/C = 1.5$（資料p. １８）			
事業の進捗状況（着手時からの社会経済情勢の変化、事業の問題点、克服度など） ☐進捗状況 ・事業進捗率：約１２％ ☐執行の遅延及び原因 ・用地取得の難航（資料p. ２５・２６）			
事業進捗の見込み ☐進捗の対策 ・鋭意用地交渉を進め、未買収地の早期取得を図る。 ☐進捗の見込み ・平成３０年度事業完了予定（資料p. ２７）			
事業の対策 ・鋭意用地交渉を進め、早期の用地取得を図る。 ・平成３０年度の完成を目標に早期の事業完了に努める。			
その他 ☐関係機関等の意向 ・地元市町村である香芝市、王寺町は事業に協力的 ☐関連事業の有無 ・国道１６８号王寺道路 ・奈良西幹線街路事業（北今市工区）（資料p. ４・５）			

社会資本整備総合交付金事業

かしばおうじ

一般国道 1 6 8 号 香芝王寺道路

奈良県土木部道路建設課

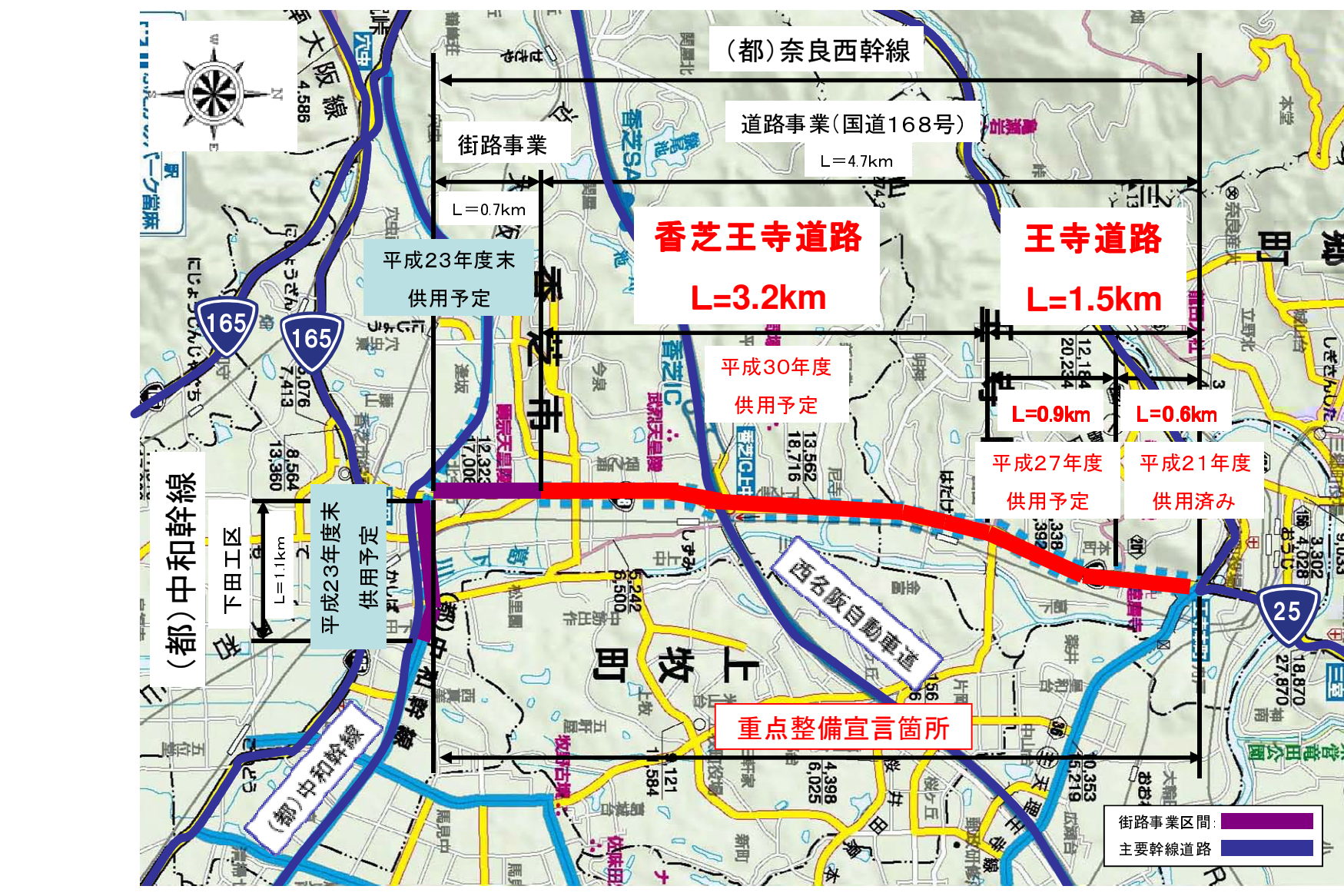
目 次

- 周辺の状況
- 事業の概要
- 事業の目的
- 事業の整備効果
- 便益に計上されていない効果
- 今後の方針

周 辺 の 状 況

周辺の状況(位置図)

(都)奈良西幹線について



周辺の状況(位置図)

香芝王寺道路は、香芝市北今市から王寺町畠田4丁目（桜井田原本王寺線）に至る延長約3,200mの道路

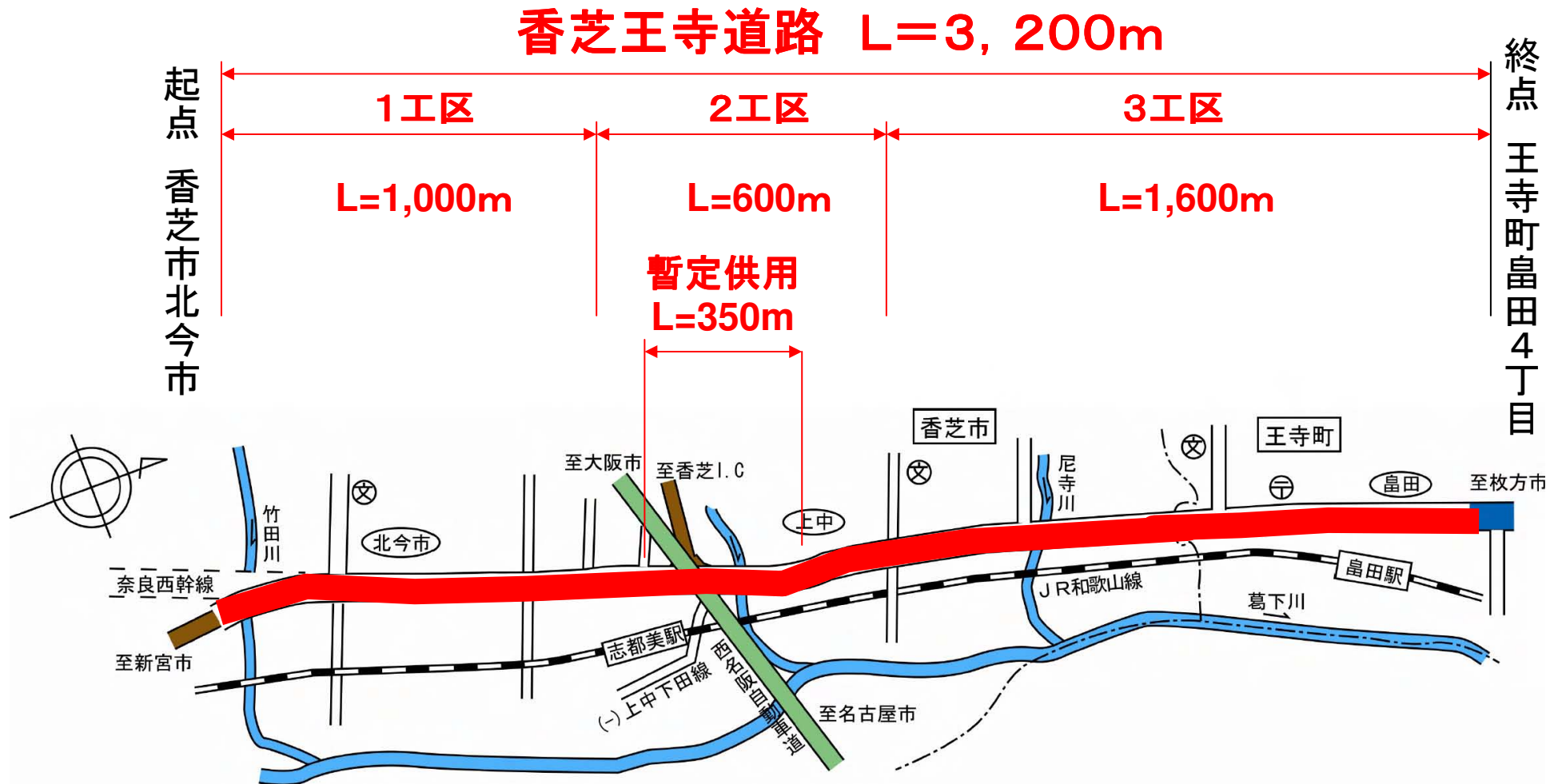


事業の概要

事業の概要

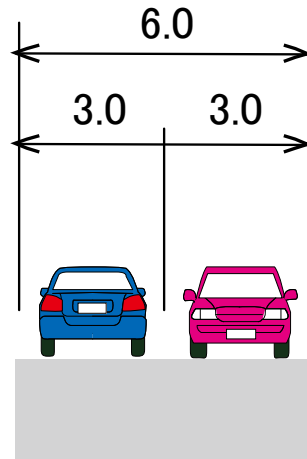
路線名	:	一般国道168号 香芝王寺道路
事業区間	:	自) 奈良県香芝市北今市
	:	至) 奈良県北葛城郡王寺町畠田4丁目
計画延長	:	$L=3.2\text{ km}$
構造規格	:	第4種第1級
設計速度	:	$V=50\text{ km/h}$
車線数	:	4車線
道路幅員	:	$W=25.0\text{ m}$
事業化年度	:	平成18年度
全体事業費	:	約151億円

事業の概要(計画平面図)

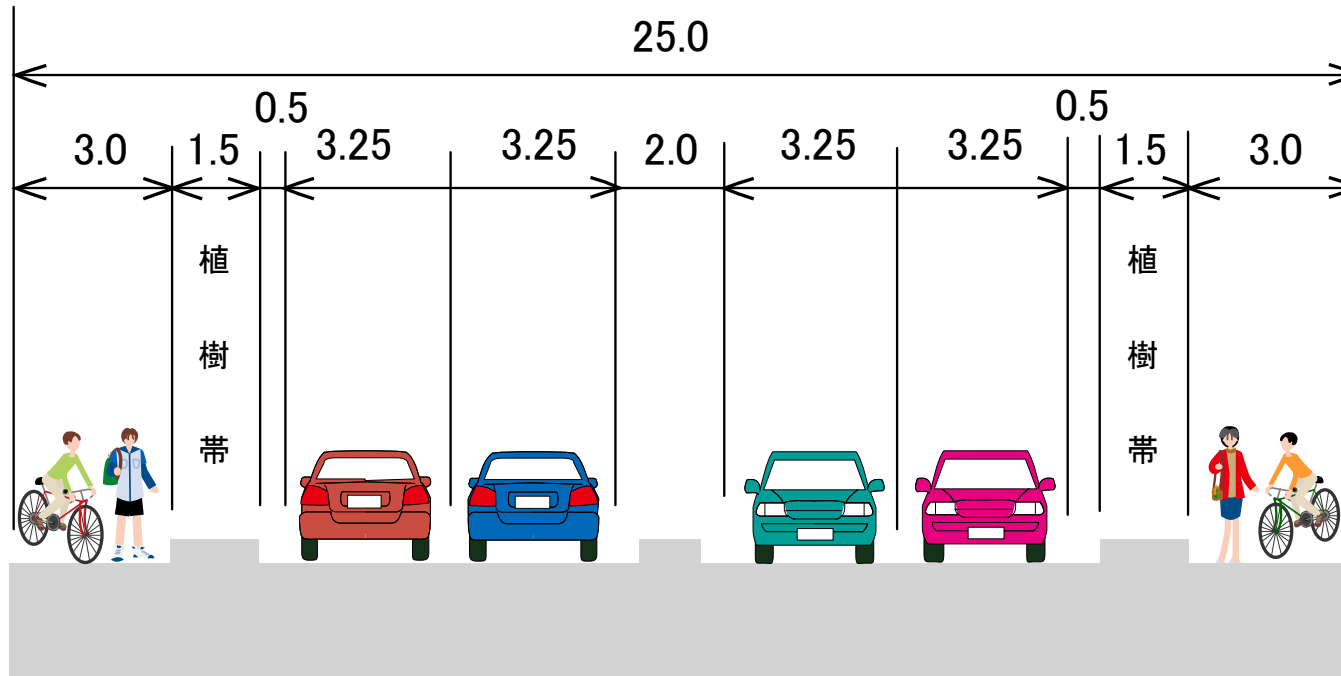


事業の概要(標準横断図)

現況



整備後



計画の概要(事業区間の現状)

一部暫定運用中
(香芝ICアクセス道路との一体改良:上中北交差点付近)



未改良区間



事業の目的

事業の目的

渋滞緩和

- ※
・事業区間全てが「渋滞が著しい箇所」
- ・混雑度1.66

※:「渋滞が著しい箇所」とは、県内の国道と県道で、「渋滞が発生している箇所」の内、特に問題となる踏切、交差点が含まれている箇所のこと。



交通渋滞の状況

事業の目的

交通安全確保

幅員狭小の現道（現道幅員が6m程度しかなく、大型車すれ違い時や歩行者通行時に安全性が阻害されている）



大型車のすれ違い困難状況



歩行者の通行状況

事業の整備効果

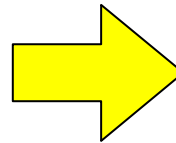
事業の整備効果

渋滞緩和

現況混雑度: 1.66

2車線 → 4車線化の交通容量確保による
交通渋滞の緩和

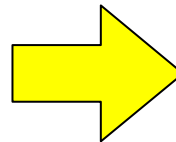
畠田4丁目付近



4車線のイメージ図



香芝IC入口交差点付近
(改良前)



香芝IC入口交差点付近
(暫定改良後)

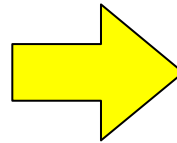


事業の整備効果

交通安全確保

W=6.0m(2車線)→W=25.0m(4車線)により、
大型車同士のスムーズな対向が可能となり、円滑な道路交通を確保

旭ヶ丘入口付近の状況



隣接する王寺道路の4車線化の状況



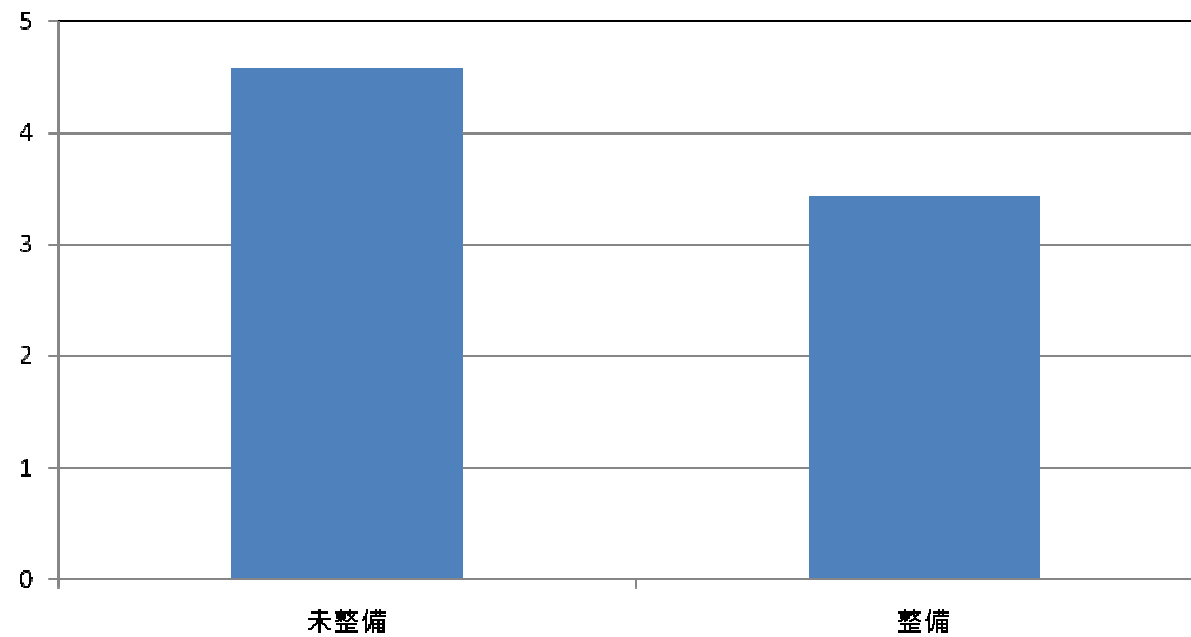
事業の整備効果

地域の活性化

中和幹線交差点～西名阪自動車道の時間短縮

4. 6分 → 3. 4分

(分)



費用便益分析

○計画交通量と事業費

計画交通量	24,400台／日
事業費	151億円

【参考】

前回評価時※の計画交通量 30,700台／日

前回評価時※の事業費 153 億円

※平成17年度評価

○費用便益分析結果

事業全体	$B / C = 1.5$
残事業	$B / C = 2.0$

【参考】

前回評価時※事業全体 $B / C = 1.8$

※平成17年度評価

注) B、Cは、評価時(平成23年度)の価値に換算している。

○便益(B)の内訳

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益
事業全体	181億円	15億円	3億円

便益に計上されていない効果

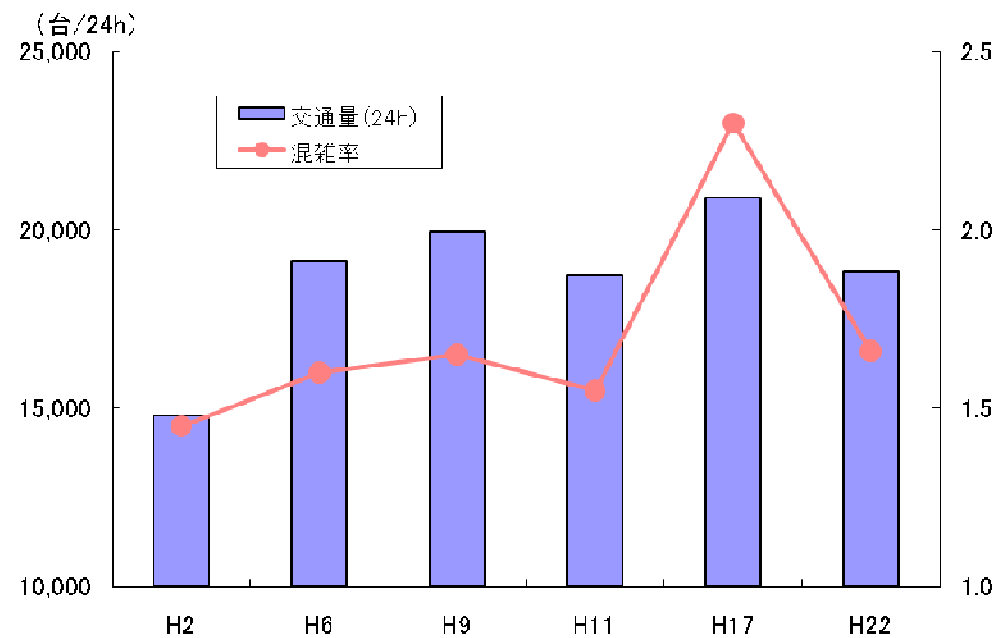
便益に計上されていない効果

生活道路への流入交通が減少 (通学児童等の安全性向上)

香芝王寺道路の整備により、生活道路の交通量が減少し、
志都美小学校(児童数:約320人)等の通学児童等の安全性が向上。



生活道路への車両流入



便益に計上されていない効果

医療機関への緊急搬送時間の短縮

第2次救急医療機関である県立三室病院への緊急搬送時間を短縮。
香芝市北今市付近からの所要時間: 10分⇒6分(約4分短縮)
(平成20年に香芝王寺道路区間を通して出動した件数: 約90件)



便益に計上されていない効果

緊急車両のアクセス向上

香芝消防署からの到着時間が短縮。

香芝市尼寺付近への所要時間: 8.7分⇒6.3分(約2分30秒短縮)

緊急事態(呼吸停止時)の死亡率が45%から35%へ改善



今 後 の 方 針

前回(新規)評価時との比較

香芝市

- ・世帯数 25,692(H18)→28,216(H23) 2,524(9.8%)増
- ・人口 72,236人(H18)→76,052人(H23) 3,816人(5.3%)増
- ・自動車保有台数 24,234台(H18)→23,615台(H22) 619台(2.6%)減

北葛城郡王寺町

- ・世帯数 8,884(H18)→9,345(H23) 461(5.1%)増
- ・人口 22,554人(H18)→22,267人(H23) 287人(1.3%)減
- ・自動車保有台数 7,919台(H18)→7,315台(H22) 604台(7.6%)減

前回(新規)評価時との比較

事業計画等

- ・事業費 約153億円(H18) → 約151億円(H23)
約2億円減(コスト縮減により)
- ・完了年次 平成26年度 → 平成30年度完了予定

コスト縮減の取り組み

- ・道路端の擁壁に既製品を採用など 約2億円減

事業の進捗状況

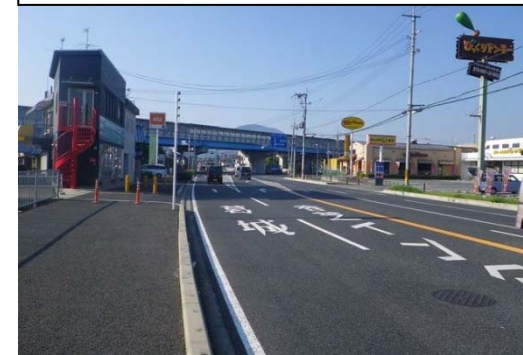
事業進捗率 : 12% (平成23年11月末現在)

用地買収率 : 23% (平成23年11月末現在)

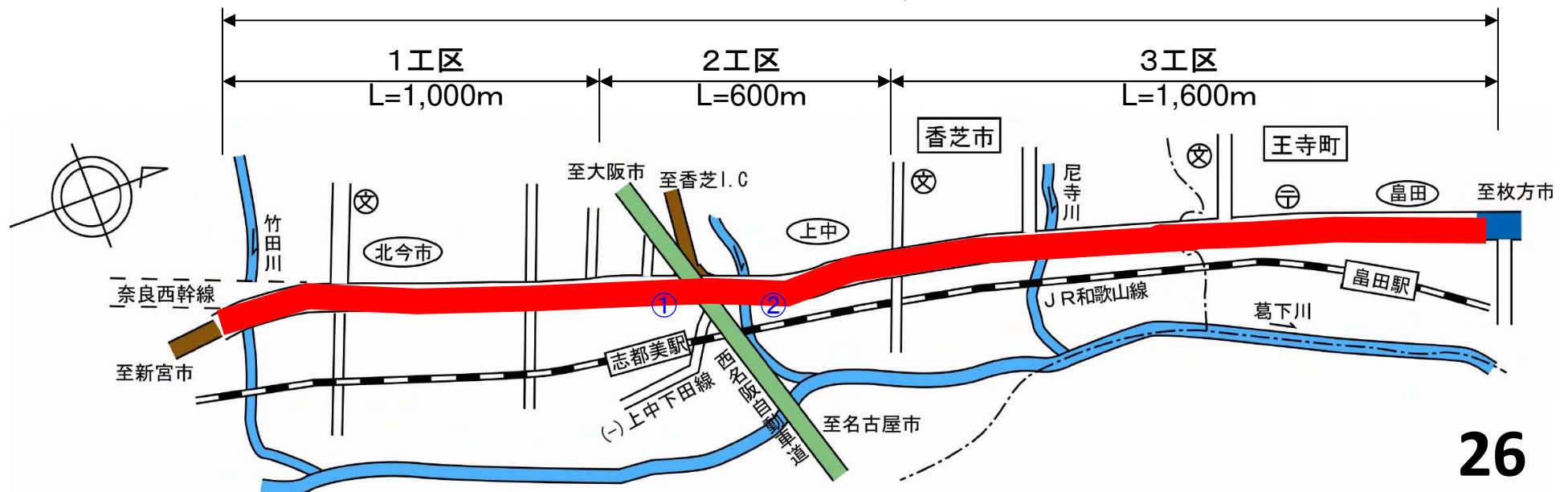
写真①: 志都美駅付近



写真②: 上中交差点付近



香芝王寺道路 L=3,200m



今後の方針(案)

進捗見込み

平成30年度 事業完了予定

対応方針案

香芝王寺道路は、事業の必要性、事業進捗状況から
継続が妥当と判断
引き続き事業を推進し、早期の完成を目指す。

事業継続